

第1部

【オープニング】

レスピーギ:古風な舞曲とアリア 第3組曲

【二胡とオーケストラの共演 with チェン・ミン】

チェン・ミン: Ever Flight (NHKテレビ放送50年南極プロジェクト) / 燕になりたい
ラストエンペラー / サラサーテ: ツィゴイネルワイゼン 作品20

※誠に勝手ながら、演奏中のご入場はご遠慮頂いております。ご理解ご協力の程、宜しくお願い致します。

第2部

【魅惑のオーケストラ】

ビゼー:「カルメン」組曲より

第1幕前奏曲 / 第1幕への序奏 / アラゴネーズ / 第3幕間奏曲 / セグディエリャ / アルカラの竜騎兵 / ハ・ネラ / ジブシーの歌

ラヴェル: ボレロ

藤岡 幸夫 (指揮) Sachio Fujioka: Conductor

1962年東京生まれ。幼少よりピアノ、チェロを学ぶ。指揮法を故渡邊暁雄、小林研一郎、松尾葉子に師事。サー・ゲオルグ・ショルティのアシスタントを務める。慶応義塾大学文学部卒。英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒。日本フィル指揮研究員を経て90年に渡英。92年マンチェスターにて最も才能ある若手指揮者に贈られる「サー・チャールズ・グローヴス記念奨学賞」を日本人にもかわらず特例で受賞。同年ルツワフスキ・フェスティバルにて作曲者の前で「管弦楽のための協奏曲」を指揮、英ガーディアン紙に「計りしれなく将来を約束された指揮者」と絶賛される。93年BBCフィルハーモニックの定期演奏会に出演、「タイムズ」紙などで高く評価され94年に同オーケストラの副指揮者に就任。94年にロンドンの夏恒例の名物「プロムス」に同オーケを振ってデビュー、大成功を収める。以後ロイヤルフィル、ロイヤル・リヴァプール・フィル、ボンマス響、ハレ管、トゥールーズ歌劇管、ノルウェー放送響、メルボルン響、アルスター管、ゲーブル響(スウェーデン)、スウェーデン室内管、クィーンズランド管、国立ニュージーランド響等に客演。2006年スペイン国立オヴィエド歌劇場にて「ねじの回転」でスペイン・オペラにデビュー、大成功を納める。すぐに2009年に「ナクソス島のアリアドネ」で再客演が決定。95年より2000年までマンチェスター室内管弦楽団首席指揮者。95年に日本フィルハーモニー交響楽団の定期演奏会で日本デビュー、同年に指揮者に就任、2003年2月まで務める。2000年より関西フィルハーモニー管弦楽団正指揮者に就任、「Meet the classic」や「ザッピャーの遺産」シリーズなど斬新な企画で新風を巻き起こしている。英シヤンドスと契約、これまでにBBCフィルとCDを7枚リリース。2002年度渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。



【オフィシャルウェブサイト】 <http://www.sachio-fujioka.net>

チェン・ミン (二胡) chen min: Erhu

中国蘇州生まれ。上海にて音楽教育家の父と越劇女優の母の元に育ち、父である陳龍章より二胡を教わる。上海戯曲学校卒業後、上海越劇院オーケストラでメインの二胡奏者として活躍。1991年来日。1993年に共立女子大学に入学し、日本文化を専攻。1997年卒業後、本格的に演奏活動を行う。2001年に東芝EMIよりアルバム「I wish-我願一」を発売。2007年2月発売の最新アルバム「祈り〜two as one〜」を含め、これまでに6枚のアルバムをリリースしている。そして自らの演奏活動のほかに、石井竜也や渡辺美里、サラ・ブライトマンのコンサートに出演、またB'zの松本孝弘や一青窈、オレンジレンジ、ZARDの楽曲に参加するなど、ジャンルを超えたアーティストとのコラボレーション活動も数多く行っている。また第76回アカデミー外国語作品賞にノミネートされた松竹映画「たそがれ清兵衛」にも音楽で参加。2002年9月、日中国交回復30周年記念番組NHKハイビジョン生中継「桂林天下の絶景を行く」、12月「第53回NHK紅白歌合戦」で谷村新司と共演、2004年にはNHKアニメ「火の鳥」の音楽にチェコ・フィルとともに参加するほか、2007年NHK大河ドラマ「風林火山」紀行テーマ曲(1月〜3月)、5月から放送中のNHK BSハイビジョン「司馬遼太郎と城を歩く」のテーマ曲を担当するなど、映画・テレビでも活躍。常に二胡の可能性を追究している。「第17回日本ゴールドディスク大賞」特別賞受賞。現在コンサート活動も精力的に行い、全国各地で数多くの観客を集め、新たな二胡ファンを獲得。演奏活動を中心としながらも、各メディアへの出演、ラジオ番組のDJやイベントでの司会、楽譜集を出版するなど、活動の場はさらに拡がりを見せている。一連の中国音楽、二胡ブームの火付け役となり、ニューエイジ・シーンで常に輝き続けている二胡奏者である。



【オフィシャルウェブサイト】 <http://www.chenmin.net>

広島交響楽団 (管弦楽) Hiroshima Symphony Orchestra

中・四国唯一のプロオーケストラである「広響」は、日本を代表する指揮者である秋山和慶が、1998年より首席指揮者ミュージック・アドバイザーを務め、2004年4月からは音楽監督・常任指揮者に就任した。これまでにウィーン、プラハ、フランス、海外公演も行い、2003年10月にはロシア・サンクトペテルブルク公演を行い絶賛を博した。この演奏会が文化交流に大きく貢献したとして、ユネスコより日本のオーケストラとして初めての『ユネスコメダル「文化対話賞」』を受賞。2001年度から、文化庁より我が国の芸術水準向上の牽引力となる芸術団体への特別支援事業「アーツプラン21」の指定団体となり、各方面から今後の活躍を一層期待されている。

(ひろぎん) トゥモロウコンサート

広島銀行では、地域の文化振興のお役に立ちたいとの願いから、広島交響楽団による(ひろぎん)トゥモロウコンサートを昭和60年より実施し、今年で23回目を迎えます。さまざまな趣向をこらしたコンサートは、地域の皆さまにご好評いただいています。

会場のご案内

公演会場 / ふくやま芸術文化ホール リーデンローズ
〒720-0802 広島県福山市松浜町二丁目1番10号 TEL(084)928-1800

交通のご案内

- JR(福山駅下車)** 福山駅南口より、徒歩約25分 **タクシー** 福山駅南口より、約5〜10分
- 自家用車**
 - ◎山陽自動車道福山東1Cより、約10〜15分 / 国道182号線を国道2号線方面へ→国道2号線を右折し約2Km→福山東警察署前「府中別れ交差点」を左折し1つ目の信号付近
 - ◎山陽自動車道福山西1Cより、約30〜40分 / 国道2号線バイパスを岡山方面へ→国道2号線に合流し約7Km→福山東警察署前「府中別れ交差点」を右折し1つ目の信号付近
- 路線バス**
 - ◎中国バス(4番のりば)手城経由鋼管病院行き「入船町二丁目」下車(徒歩3分)
 - ◎中国バス(3番のりば)新浜循環線「松浜町二丁目」下車
 - ◎路線バス(18番のりば)市内東廻り「リーデンローズ入口」下車
- 臨時バス**
 - ◎福山駅発リーデンローズ行き / 中国バス(3番のりば)、路線バス(18番のりば)開演1時間前に発車(各1便)
 - ◎リーデンローズ発福山駅行き / 終演時に建物北側の臨時バス乗降場から発車します。

